

平成 28 年 9 月 20 日

航空局航空戦略課

国際航空分野の温室効果ガス排出削減制度への参加を決定

国土交通省は、国際航空分野における温室効果ガス削減の対策の1つとして、国際民間航空機関（ICAO）において検討されている、市場メカニズムを活用した全世界的な排出削減制度（Global Market-Based Measures : GMBM）への参加を決定しました。

1. 背景

国際航空分野の温室効果ガス排出削減については、ICAO の場において、グローバル削減目標（①燃料効率を毎年2%改善、②2020年以降総排出量を増加させない）を定め、新技術の導入、運航方式の改善、代替燃料の活用に加え、市場メカニズムを活用した世界的な排出削減制度（GMBM）を構築するべく検討を進めてきました。

今般、本年9月27日から10月7日に開催予定の次回（第39回）総会において、GMBM の導入が議論される見込みとなっています。

2. 制度への参加について

GMBM の具体的な制度内容については、これまで、専門家やハイレベルの会合における議論を通じ、骨格は固まってきました。

制度開始当初の2021年～2026年の間は、自発的に参加する国同士を結ぶ飛行ルートを対象に適用される見込みであり、加盟国は参加の意思の有無についてICAOより照会されています。既に、米・中・欧州諸国等が参加の意思を表明しています。【制度の概要：別紙参照】

我が国としては、国際航空分野で責任ある役割を有しており、また地球温暖化対策に積極的に取り組む必要があることから、同制度へ参加することを決定しました。

今後、来るICAO総会において、本制度の具体的内容について成案を得て、できるだけ多くの国が本制度に参加するよう、関係各国と連携して取り組んでまいります。

3. 今後の予定

平成28年9月27日（火）～10月7日（金）：第39回ICAO総会

平成33年以降：本制度に基づく削減義務がスタート

【お問い合わせ先】

国土交通省 航空局 航空戦略課 地球環境保全調整官 網谷
国際展開推進企画調整官 太田
TEL : 03-5253-8111（内線48173、48189） 直通 : 03-5253-8908

国際航空における地球温暖化対策について

過去のICAO総会(2010年、2013年)において、国際航空からのCO2排出削減に係る以下のグローバルな目標を決定、具体的対策を検討

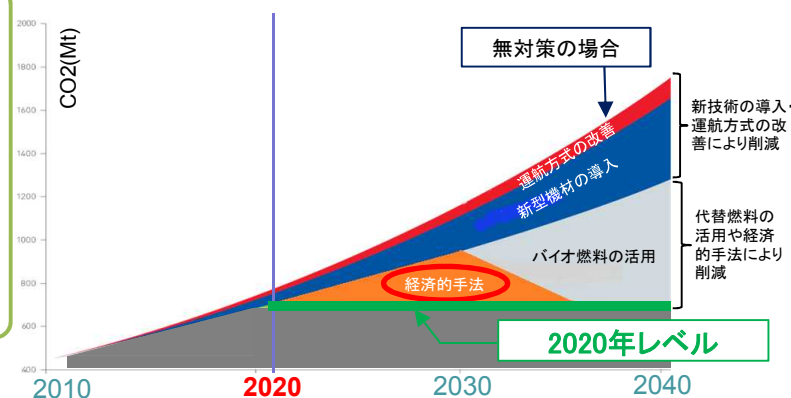
- ①燃料効率を毎年2%改善
- ②2020年以降総排出量を増加させない

目標達成の手段

- ①新技術の導入(新型機材等)
- ②運航方式の改善
- ③バイオ燃料の活用
- ④市場メカニズムの活用(排出権取引)

- ①～③の対策で不足する部分について、④市場メカニズムを活用した制度により対応
- 制度導入とその具体的内容について、本年のICAO総会で議論

我が国としても、市場メカニズムを活用した制度を含め取組に参画する必要



国際航空からのCO2排出量予測と排出削減目標のイメージ

※2016年時点のICAO資料を基に作成

制度の概要

ICAO総会において議論される制度案の内容は以下のとおり

(H28.8.26の理事会の結果を踏まえた決議案に基づく)

時期:	2021年～2026年	2027年～2035年
対象:	国ごとに自発的に参加	義務的参加 ※小規模排出国、後発開発途上国等を除く
各航空会社の排出権購入:	国際航空において2020年より増加した排出量について、各運航者の排出量に応じ割り当て ただし、2030年以降は、各社の個別の削減努力を段階的に反映	
我が国航空会社の負担見込み(国交省試算):	我が国航空会社の合計で、制度開始当初年間十数億円程度から、2035年には年間数百億円程度に段階的に増加する見込み	

注:国際航空全体の平均成長率:年5.3%、我が国航空会社の平均成長率:4.6%年、排出クレジットの価格:2020年時点で6～20ドル/トン、2030年時点で10～33ドル/トン、為替レート:105円/ドルと想定。

(参考) 有償トン・キロ上位国リスト (2014年時点)


有償トン・キロ

	国	有償・トンキロ(2014年)	シェア	累積シェア
1	中国	62,661,657,151	11.76%	11.76%
2	米国	62,359,064,486	11.70%	23.46%
3	UAE	46,892,720,885	8.80%	32.27%
4	イギリス	30,158,001,753	5.66%	37.93%
5	ドイツ	28,814,799,214	5.41%	43.33%
6	韓国	20,764,711,405	3.90%	47.23%
7	シンガポール	18,511,391,369	3.47%	50.71%
8	フランス	17,732,411,000	3.33%	54.03%
9	オランダ	15,962,395,348	3.00%	57.03%
10	日本	14,581,032,148	2.74%	59.77%
11	カタール	14,293,445,230	2.68%	62.45%
12	トルコ	13,771,403,581	2.58%	65.03%
13	カナダ	11,983,608,812	2.25%	67.28%
14	アイルランド	11,868,967,019	2.23%	69.51%
15	ロシア	11,802,890,290	2.22%	71.73%
16	マレーシア	9,593,485,831	1.80%	73.53%
17	オーストラリア	8,855,781,434	1.66%	75.19%
18	タイ	8,473,871,575	1.59%	76.78%
19	スペイン	7,995,446,551	1.50%	78.28%
20	インド	6,510,575,876	1.22%	79.50%
21	スイス	6,480,328,202	1.22%	80.72%
22	ルクセンブルグ	5,823,965,907	1.09%	81.81%
23	サウジアラビア	5,540,581,956	1.04%	82.85%
24	ノルウェー	4,353,940,164	0.82%	83.67%
25	ブラジル	3,797,696,000	0.71%	84.38%

※ICAO RTK2014

26	イタリア	3,783,195,549	0.71%	85.09%
27	ベルギー	3,649,801,231	0.69%	85.78%
28	フィリピン	3,529,178,426	0.66%	86.44%
29	ニュージーランド	3,288,850,364	0.62%	87.06%
30	ポルトガル	3,035,189,584	0.57%	87.63%
31	チリ	2,940,196,000	0.55%	88.18%
32	エチオピア	2,933,110,855	0.55%	88.73%
33	南ア	2,856,064,393	0.54%	89.26%
34	インドネシア	2,767,018,573	0.52%	89.78%
35	フィンランド	2,752,234,257	0.52%	90.30%
36	メキシコ	2,746,097,781	0.52%	90.82%
37	イスラエル	2,674,234,541	0.50%	91.32%
38	オーストリア	2,611,712,001	0.49%	91.81%
39	パナマ	2,506,204,401	0.47%	92.28%
40	ベトナム	2,317,702,876	0.44%	92.71%
41	コロンビア	2,279,211,936	0.43%	93.14%
42	エジプト	2,257,978,572	0.42%	93.56%
43	ハンガリー	2,254,014,847	0.42%	93.99%
44	スリランカ	1,659,396,851	0.31%	94.30%
45	ペルー	1,337,504,485	0.25%	94.55%
46	モロッコ	1,316,497,529	0.25%	94.80%
47	パキスタン	1,282,409,333	0.24%	95.04%
48	オマーン	1,267,044,956	0.24%	95.28%
49	アルゼンチン	1,207,260,196	0.23%	95.50%
50	ケニア	1,186,164,263	0.22%	95.72%

 ↑
2027年以降
参加が義務化

 : 2021年～2026年において、自発的参加を表明している国 (H28.9.14時点)

 : 2027年以降、参加が義務化される見込みの国 (実際には2018年時点の有償トン・キロに基づき決定)